

堀川商店街協同組合

清明神社堀川参道の拡大発展事業

～商店街が地域の資源との共存共栄を図り新しい街づくりにチャレンジする事業～

1) 事業者概要

実施団体名	堀川商店街協同組合
組合員数	33名
所在地	京都市上京区西堀川通下長者下る栂屋町1番地
ホームページ	http://www.horikawasandou.jp

2) 事業内容

実施期間	平成16年6月～平成17年3月
総事業費	1,525千円

事業実施の背景

これまでの2年間の取組により「堀川商店街＝京都清明神社堀川参道」というイメージが着実に浸透しつつあるが、商店街の売上や実利益の増加にはまだ直結していない段階であり、また商店街を取り巻く環境は依然厳しい状況にあることから、「京都清明神社堀川参道」をテーマとする商店街活性化事業をさらに推進していく必要があった。

内 容

組合内に「堀川商店街活性化対策委員会」を立ち上げ、次の事業を実施した。

- 1) 「清明グッズ」の開発と販売拡大のため商店街のホームページを全面リニューアルし、全国から安倍清明の姿絵のコンテスト作品の募集等を実施
- 2) 上記商店街のホームページを利用した「清明グッズ」の制作・販売
- 3) 空き店舗を活用した「現代空間アート作品展」、「ちぎり絵講習会」、「上京児童作品展」の開催



堀川商店街ホームページ

目標及び達成状況

(目標)

商店街とその活動への一般の関心と認知度を向上させるとともに、今後のための人脈や素材を培い、商店街事業の発展と観光客に代表される新規客層の開拓を図る。

(達成状況)

- 1) 商店街のホームページのアピールのために行ったポストカード・キャンペーンは全国から300通を超える応募があり、「晴明」「陰陽」「京都」への憧れや関心が根強いことを確認できた。
- 2) 3つの空き店舗活用策の実施により、京都市内の芸術家、上京区域の市民、隣接地区の住民という異なったカテゴリーの人々との関係を構築することができた。
- 3) 新規委員会が始動し、本事業の遂行だけでなく、広範な商店街活性化対策に取り組む組織ができた。

効果及び評価

商店街のホームページを全面リニューアルして、より実用性の高いものとして活用出来るようになった。全国からのコンテスト作品の募集や、キャンペーンの実施などで、広く一般の関心を集め、関心の度合いも把握することができた。

また、コンテスト及び空き店舗の活用において、新たな人脈が培われ、今後の商店街活動への大きな助力を得られた。これらの諸活動が、様々なメディアに好意的に取り上げられて、商店街をPRすることもでき大きな成果を得られた。

実施後の反省点

ホームページのリニューアルに関しては、予め数値や文言で表現しづらいデザイン面での評価検討要素が大変重要であり、選定や製作に時間が掛かったため、全体として苦しいスケジュールの中で事業を進めていくことになった。

(次年度以降の取組等)

- 1) 空き店舗の解消、空き店舗増加の阻止
- 2) 商店街のホームページの充実と事業への活用
- 3) 「晴明神社堀川参道」の知名度向上と定着化
- 4) 堀川参道ファンの組織化

事業成果のワンポイント

晴明神社堀川参道の情報発信、晴明グッズ制作販売、コンテンツコンテスト、空き店舗活用事業などについて、商店街のホームページを実用性が高いものにリニューアルのうえ活用したことにより、広く一般の関心を集められた。空き店舗活用事業では市内の芸術家、上京区域、隣接地区住民などそれぞれ異なったカテゴリーの人々との関係を構築し、広範な商店街活性化対策に取り組む組織が出来た。